

広報広聴特別委員会

※必要性および優先度は、別添の「議会モニター提言についての必要性・優先度の考え方」をご参照ください。

通し 番号	提言内容	必要 性	優先 度	委員会で整理した考え	令和元年度末対応
1	市議会ホームページに対して ○スマホ版への対応がされていない。 ○他市議会との比較・分析について ア 子ども向けホームページの作成 イ YouTubeの活用 ウ Facebook以外の多様なSNSの活用 エ 許される範囲で、視覚的に親近感のわくデザインに	◎	C	・ホームページにつきましては、本年度予算において市のホームページの全面リニューアルが予定されております。その中で、スマートフォンへの対応、デザインの変更も予定されており、期待しているところです。 ・ア～ウにつきましては、現在取り組んでおります多様な広報広聴手段の確立の中で、活用を検討していきたいと思っております。	一部検討中
2	若者世代の議会への参加について ○無理を感じさせない程度の責任感の中で、社会に必要とされている、評価してもらえろという思いをしっかりと感じてもらう工夫を意識して作っては	◎	A	・光市議会では、選挙年齢が満18歳に引き下げられたことをキッカケに平成27年度から高校生との意見交換会を毎年開催しています。また、議会モニター制度においても大学生が参加される中で、ご意見・ご提言もいただいております。今後も積極的に工夫して取り組んでまいります。	—
3	市ホームページから市議会ホームページのリンク誤り ○古いURLのままです	◎	A	・ご指摘によって、早速に対応させていただきました。	改善
4	傍聴者に判りやすい、議会日程などの周知 ○「傍聴のご案内」のページにもリンク掲示を。 ○会期予定表に市民が傍聴できる会議と、傍聴場所の掲載を。 ○本会議の傍聴者数が平成27年度しか掲載されていないので、過去と最近の状況を知りたい。 ○本会議の傍聴者数について数字だけでなくビジュアル化し、市民の市議会に対する関心度のパラメーターとして活用を。	◎	A	・傍聴者にわかりやすいご案内につきましては、なんらかの工夫をしてまいりたいと思っております。 ・傍聴者数の状況とビジュアル化した表示につきましては、ご提言に沿って早速に対応させていただきました。	改善

5	<p>議会報告会の取り組み方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意見交換については、時間制限をしないように。 ○地元選出の議員が1名以上出席するように。 ○質問への回答が3月かかっているが、2月でできないか。タイムリーな要望も多いのではないか。 ○質問と回答の記録は素晴らしい。 ○質問に対する回答者の記載。また連番を打ち、後で振り返りができるように工夫を。 ○市民からの提言を集約・分析し、議会活動につなげてほしい。例えば、防災無線が聞こえない、高齢者などの弱者対応等の問題を議題に市民との意見交換や議会報告会の開催を。 	◎	B	<p>・議会報告会につきましては、平成23年度から取り組み、これまでに10回開催しております。内容については、毎回、広報広聴委員の中での意見を集約し、工夫を重ねながらの開催となっております。ご提言につきましては、今後の開催に向けて参考とさせていただきます。</p>	—
6	<p>議会スケジュールの公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○メンバーへの詳細なスケジュール伝達を。(議題や日時・会場への案内など) ○傍聴者を増やす為、次の日程チラシを入口に準備。 	◎	A	<p>・閉会4日前議会運営委員会で、次の議会の開催日程案(時間と場所)を示し、ホームページでも公開を始めました。また、メール登録していただいた議会モニターの皆さんには、メールでお知らせし、市役所3階に掲示をするように改善しました。</p>	改善
7	<p>議会報告会で題材にしていきたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昨年末、各地のコミュニティーセンターで意見交換会が実施されたが他地区議員の方々の関心・興味が薄いのではと感じた。重要課題もあるので継続的に、審議・対応・検討すべき。 	△	A	<p>・議会報告会の議員の参加場所につきましては、役職や委員会の構成等によって、決めております。また、報告会の意見交換でお聞きしたご意見の中から、常任委員会の調査・研究の年間テーマに設定されている案件もありますのでご理解をお願いします。</p>	—
8	<p>一般質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民への広報がまるでない。各コミュニティセンターや公共施設、病院、駅など市民の目につくところに、開示をお願いしたい。 	△	B	<p>・一般質問の開示につきましては、ホームページで公開するとともに、マスコミ等でも報道していただいております。他市の例も参考にしながら、今後の課題として、検討させていただきたいと思っております。</p>	検討中

9	<p>委員会を傍聴して感じた事 ○常任委員会、議会運営委員会などの映像配信をお願いしたい。</p>	◎	C	<p>・委員会の映像配信につきましては、現在も検討課題として前向きに取り組んでおりますので、貴重なご意見として承ります。</p>	検討中
10	<p>市議会だよりをぜひ発刊していただきたい。 ○山口県13市6町の中で、議会報を発刊していないのは光市だけです。 ○県だより(15頁程度)と同様年4回で全世帯に配布していただきたい。 ○発刊することで、議会の信頼を得、議会活動をPRでき、市民の議会参加に繋がっていく。 ○議会の仕組みや活動状況、定例会の審査や採決の結果を報告することで新しい議員の発掘に繋がっていく。(4年ごとの選挙の無投票を解決)</p>	◎	C	<p>・議会報につきましては、広報広聴特別委員会に付議された、重要な調査研究テーマの中の一つとなっております。今後も様々なご意見・ご提言を参考にしながら、研究に取り組んでまいりたいと思います。</p>	検討中
11	<p>議会運営について ○議会用語集はないでしょうか。 ○議員のプロフィール紹介一覧表を。</p>	△	B	<p>・議会用語集については、傍聴席入口に置いております「議会のしおり」によく使われる議会用語集を載せております。 ・議員のプロフィール紹介一覧表につきましては、今後の検討課題とさせていただきますと思います。</p>	—
12	<p>議会モニターからの提言を必要性、優先度の算定基準を工夫し共通認識を図り、すぐできるものから取り組んでいただきたい。</p>	◎	B	<p>意見・提言の算定基準につきましては、各委員会共通ルールで行っています。その結果すぐに取り掛かれるものから改善を行っていますのでご理解ください。</p>	令和2年度から評価基準の見直し。
13	<p>モニターが他市町で本会議を見学できるよう、交通費等支給できないか。</p>			<p>モニターの皆さんが他市議会を傍聴に行くための交通費については、考えていません。</p>	—

14	モニターのベクトル合わせの場を提供していただけないか。			現状でもモニター同士の協議の場として図書室等を活用されていると聞いています。また、情報提供につきましては、情報に差が出ないようにメール等も活用し、モニター皆さんに同じ様に提供させていただいています。	—
15	モニターと委員でフランクで風通しの良いキャッチボールをすることができないのか。	◎	B	まさに意見交換会がその場であると考えていますので、その時にご意見をいただけたらと思います。しかしながら、雰囲気や手法等については進化、改善していきたいと思います。	令和2年度から意見交換会の手法を改善。
16	議会モニターの人選について、若い世代の参加を増やす必要があるのでは。	○	B	議会モニターの年齢については18歳以上としており、今回は徳山大学の学生さんたちにも参画をいただいています。若い世代への取組みについては、毎年高校生との意見交換会を開催し、積極的に取り組んでいます。	令和2年度も徳山大学の協力をいただきました。
17	議会モニターの人選について、専門的な知見を持たれている方を募集し、活用してはいかがか。	△	B	専門的な知識の活用については、今年度より議会アドバイザー制度を導入したところです。しかし、まだ活用には至っていない状況です。	—
18	提言回答について、意見交換の為、回答の横にモニター意見欄をいただきたい。			提言回答の一覧につきましては、議会内での協議に活用しているものをご理解ください。それを基に活用していただく事は構いません。	—

19	モニターとの意見交換は広報広聴委員だけでなく、全議員に出席してほしい。	△	B	議会モニターの担当は広報広聴特別委員会が担当となっています。状況を見ながら様々な改善をしながら取り組んでいきますのでご理解ください。	令和2年度から全議員が参加する意見交換会に改善。
20	モニターとの意見交換会で説明が不十分なため、誤解を与えたり、市民の声を聴くスタンスが感じられず残念に感じた。(3つの委員会に提言を分類した理由、必要性の分類根拠など)会議の進め方を丁寧にしてほしい。	○	A	8月20日の意見交換会では、趣旨説明をする前に質疑が始まり残念な流れとなりました。意見交換等、議会として限られた時間の中で目的をもって開催しているので、そこはご理解いただきたい。今後については、ご意見を参考にさせていただきます。	—
21	市民の関心を高められるような「議会へのメール」サイトの新設はできないか。	○	A	現在も光市議会ホームページにメールでご意見をいただく「ご意見をお寄せください」がありますのでご活用ください。周知の方法については改善させていただきます。	令和2年3月のホームページリニューアル時に詳細説明とメールフォームによるお問い合わせを追加。
22	議会報告会で提出された要望、陳情等への対応効果を地域住民にアピールしてはどうか。	◎	A	議会報告会でいただいたご意見等につきましては、回答を作成しホームページでも公開しております。また、継続して市議会報告会を開催する中で応えていきたいと思えます。議員個人の活動でも、それぞれが市民の負託に応える活動をしています。	—
23	市民から情報を吸い上げ、改善に繋げる仕組みづくりを求めます。市民を巻き込んで行政改革を執行部にぶつけていく姿勢が必要ではないか。	◎	B	仕組みの1つとして「議会報告会&意見交換会」があります。新しい議会モニターの取組みも含め、議会としての仕組みづくりに今後も取り組みます。	検討中
24	ホームページの更新をする際に、更新誤りがあった。市民の関心が薄れるので注意していただきたい。ケアレスミスを防ぐために第3者などによるチェック体制が必要なのではないか。提言しても改善されずむしろエスカレートしていないか。	◎	A	いただいたご指摘箇所につきましては、速やかに修正させていただきました。今後はチェックを厳しくして取り組んでまいります。	—

25	委員会の進行の仕方ですが、意見集約にまとまりがなく歯切れの悪さを感じました。シンプルで判りやすい会議の進め方や意思決定へのプロセス手法などの洗練を望みます。	◎	A	委員会の進行につきましては、その議題によって異なります。広報広聴特別委員会では、委員全員から意見を出してもらい協議しながら決めていくことも多いのでご理解ください。しかしながら会議の手法につきましては研究してまいります。	—
26	議会報告会の開催を、広く市民に周知していただくことをお願いしたい。	◎	A	光市広報を活用した情報提供は行っています。また、ポスターの掲示等広く市民にお知らせする取り組みも行っています。今後もより良い手法を取り入れていきます。	—
27	議会報告会のタイムベルは考え直していただきたい。	◎	A	協議の結果、議会報告会をはじめ、高校生との意見交換会でもタイムベルの使用を無くしました。	改善
28	議会報告会の開催日程に土曜・日曜開催を検討されないのは残念です。若年層の参加を増やす努力をされてはいかがか。	△	B	これまで様々な手法で開催を行う中、2016年に6会場で土日開催も行いましたが参加人数が少なかった経緯があります。そのことも踏まえ、今後も様々な手法を研究し取り組んでまいります。	—
29	議会報告会のポスターや当日配布資料に年次を入れていただきたい。毎年、報告会の資料として保管する方もおられます。	◎	A	ご指摘をいただき、資料作成の中で表紙に年次を入れさせていただきました。	改善
30	議会報告会配布資料について常任委員会の所管事項を部ごとに整理していただきたい。写真を違和感のないようなものに差し替えていただきたい。(テレビの配置、三脚などの移動など)	◎	A	ご指摘をいただき、一部資料作成の中で改善させていただきました。	改善
31	議会報告会の広報について各地区の関心を集めるために、個別テーマや共通テーマも案内されてはいかがでしょう。	◎	A	ホームページでのテーマ紹介については更新ミスでしたのですぐに修正を行いました。	改善

32	議会報告会の参加者数が年々減少傾向にある中で、要因分析と対策を充分考えて報告会に臨まれておられるのか。	◎	A	開催後に全体反省会を開催し課題の共有を行い、次回開催時の企画に活かしています。今回は、地区別に関心が高いであろうテーマ設定を行ったこと、公募を行ったことなどの取組みがあり、また、議会モニターの皆さんが参加を呼び掛けていただいたことが参加者増につながったと考えています。	—
33	議会報告会に地域から多数の参加があるよう、コミュニティセンターなどに徹底させてほしい。	◎	A	各コミュニティセンターへの周知はお願いしていますので、今後も連携して取り組みます。	—
34	報告会の開催は開催日に間を空けて開催してはいかがでしょうか。	◎	A	開催については、毎回協議のうえ決定しておりますので、ご意見として受け止めさせていただきます。	—
35	議会報告会終了後のアンケートについて ①後日提出を認めていただきたい。 ②筆記用具や画板などの貸し出しをしていただきたい。 ③アンケート用紙の様式の工夫をしていただきたい。 (字体、行間、記述欄など)	◎	A	①後日提出につきましては、すぐに対応させていただきました。②筆記用具については準備をしていましたが周知不足であれば改善します。画板は必要数が多く難しいと考えます。③アンケート用紙については、A4サイズ片面に収まるよう作成しています。レイアウト等については今後も考えていきます。	改善
36	広報紙の回数が月1回となる中でインターネットを利用していないお年寄りが多い。各議員の一般質問やその答弁を記載した議会だよりの発行を検討してほしい。	△	B	議会広報誌の調査研究は、広報広聴特別委員会に付議されており、その中で参考意見とさせていただきます。	検討中
37	市民は市議会議員の活動を認識しておらず、議会は市民の声を吸収できていない。一生懸命さが市民に伝わっていないと感じた。市民の付託に応え開かれた議会のフレーズを議員が肝に銘じるとともに、【伝え、聴く、説明、納得】の繰り返しが必要なのではないかと。最低年4回の意見交換会の実施や地元議員が座談会などを実施し意見交換会を増やすべきでないか。	○	B	議会報告会につきましては、高校生との意見交換会も含めて年2回以上開催しています。また、各議員がそれぞれの地区で活動を行っております。市民間、地域間でも温度差があると思いますが、議会としてはこれからも積極的に取り組んでいきます。	—

38	<p>室積と浅江会場に参加したが</p> <p>①司会者は時間の配分等を考慮し捌いていただきたい。 ②モニターの質問に回答しなくて良いのではないか。 ③議員席は常任委員会で固まった方が良かったのではないか。</p>	○	B	<p>①司会進行については、状況を判断し行っている のでご理解、ご協力をいただきたい。②基本的 には、モニターの皆さんも市民として参加して いるので質問があれば回答させていただきます。③ 今回はシナリオの説明者順に席を並べましたが、 次回に向けて考えていきたい。</p>	—
39	<p>周防と浅江会場に参加したが</p> <p>①市民の声を聴く姿勢や司会進行が良かった。 ②配布資料は良かったが説明が不十分な箇所が 数点あった。第3者チェックなどを加えるべき。 ③地域テーマの採用は良かった。 ④参加者が低迷している地域のテコ入れなど 継続的な工夫が必要でないか。</p>	◎	A	<p>①ありがとうございます。②資料作り、説明 原稿作成ともにチェック体制も含めて改善して いきます。③地域テーマについては、来年度以 降どうするかはこれから検討していきます。④ 報告会については、毎年企画検討し開催して います。今後も多くの方に参加いただけるよう 工夫してまいります。</p>	—
40	<p>チャイルドハウスひなたぼっこの意見交換を 傍聴して</p> <p>①市民に寄りそう姿勢(回答内容、人選)や、 成果に結びつくような話は出来なかったの でしょうか。自己満足と受け止められました。 ②市民に役立つ情報など、政務活動費を利用 して還元していただきたい。 ③請願が必要ななら、手続きなどを丁寧 に説明すべきでは。 ④執行部にも出席を求め、議会や市政が それぞれの立場で見解を述べ、それに団体 も参加する会話形式で論点整理はできない のでしょうか。</p>	○	B	<p>①今回は「議会報告会&意見交換会」の中 での意見交換会だったので議会として回答 させていただきました。②政務活動費を活用 して会派視察を行っている会派もあり、そ の報告書は市議会ホームページでも公開 しています。③請願については、当日の議 会の仕組みの中で説明をさせていただきました。 また、総務市民文教委員長が要望書への回 答報告の時に説明させていただいています。④ 執行部と議会は2元代表制であり、執行部 は市長の対話集会等を開催しています。市 民はそれぞれと対話する機会があります のでご活用いただけたらと思います。</p>	—
41	<p>①広報紙の回数が月1回となる中で インターネットを利用していないお年寄 りは多い。各議員の一般質問やその答 弁を記載した議会だよりの発行を検討 してほしい。 ②デジタルとアナログを使い分けて 情報発信をしていくべきではないか。</p>	△	B	<p>議会広報誌の調査研究は、広報広聴 特別委員会に付議されており、その 中で参考意見とさせていただきます。</p>	検討中

42	議会モニターの提言について、広報広聴特別委員会は内容をしっかり吟味せず安易に却下しているように感じられた。議会モニターの意見をしっかりと受け止めていただきたい。検討することが難しい理由などについてモニターと意見交換するなど丁寧な説明を望みます。	○	A	モニター意見の振り分けは広報広聴特別委員会で行っていますが、協議は担当委員会で行っていません。振り分けの根拠等につきましては、必要であれば説明をさせていただきます。執行部への提言につきましては回答を求めるための振り分けは対象外としていますが、意見・提言については共有しております。なお、協議を行う必要性については、最終的には議長の判断で行っています。	—
43	議会広報紙は、今回の議会報告会の作成例のように、 ①委員会の調査活動の内容 ②一般質問での執行部との討議内容 ③その後の成果や進捗状況 というように、市民の関心のあるテーマについて、状況を紹介する形のものが良いのではないのでしょうか。	△	B	議会広報誌の調査研究は、広報広聴特別委員会に付議されており、その中で参考意見とさせていただきます。	検討中
44	議会広報紙についての議論を聴くと、視点が議員各位の思いに偏っているように感じます。市民が何を求めているのか目を向けた検討をお願いします。	△	B	議会広報誌の調査研究は、広報広聴特別委員会に付議されており、その中で参考意見とさせていただきます。	検討中
45	コスト面などでハードルが高いのであれば、PDFをホームページで紹介する事や、成果物をコミュニティセンターに置くことから初めてはいかがでしょうか。	△	B	議会広報誌の調査研究は、広報広聴特別委員会に付議されており、その中で参考意見とさせていただきます。	検討中
46	議会モニター設置要綱第10条(3)(議長が依頼した市議会運営に関する調査事項に回答する事)に基づき、議長からモニターに市民が求めている議会広報紙についてのアンケートをしていただけないのでしょうか。	△	B	議会広報誌の調査研究は、広報広聴特別委員会に付議されており、その中で参考意見とさせていただきます。	—
47	なぜ広報広聴委員は提出するように言われた課題を提出しないのか。委員会は会に臨む前に事前調査をし、当日は資料を用意し、議論がなされる場所でないのでしょうか。	◎	A	宿題の提出がなかった理由は、各委員それぞれであると考えます。しかし、今後スムーズな委員会進行になるように、委員会後の委員長報告書を共有し、抜けが無いように改善しました。	—

48	広報広聴特別委員会の進め方に纏まりがないのが気になります。議会報の是非を協議しているのに、他市の広報紙の研究をする話になるなど、曖昧なまま問題を先送りにしてしまったように感じます。委員長は議事の進行を適切にコントロールできないものでしょうか。	○	B	委員長として議事の進行がスムーズになるように取り組みます。しかし、委員会として委員が求め合意したことは決定事項になることもご理解ください。	—
49	なぜ委員はモニターとの意見交換を頑なに反対するのでしょうか。休憩中の雑談方式でも構いませんので意見交換を行っていただきたい。	○	B	意見交換会については様々な手法があると思いますので、取組みの中で改善していきたいと考えています。ただ、広報広聴特別委員会では、議会モニター皆さんにお知らせして公平に取り組む責任がありますので、そこはご理解ください。	令和2年度から意見交換会の手法について改善。
50	広報広聴特別委員会は、モニターの意見を幅広く聴取するために意見交換会の定期的な開催をすべきではないでしょうか。(議長とも座談会の機会を作っていただきたい。)	○	B	意見交換会については様々な手法があると思いますので、取組みの中で改善していきたいと考えています。座談会については議長に伝え協議をしてみたいと思います。	定期的な意見交換会は令和2年度から改善。座談会は令和元年度中に開催。